

環境技術支援・国の補助金事業

有機EL照明のルミノテックなど

県内6社採択

東北最多

経済産業省は27日、将来の成長が見込まれる企業に対して国が直接支援し、雇用創出を図る「低炭素型雇用創出産業立地推進事業」の採択先を発表した。本県からは有機EL（エレクトロルミネッセンス）照明の製造を手掛けるルミノテック（米沢市）など、東北では最多の6社が選ばれた。

同事業は成長と雇用創出が期待される「グリーン産業」など環境関連技術分野の設備投資を支援することで、国内での工場立地を促進するのが狙い。補助率は事業費の2分の1〜3分の1で、予算総額は1100億円。経産省は、約5倍に当たる約5300億円の設備投資の呼び水となり、裾野産業を含め約9万5千人の雇用創出が期待できると見込んでいる。採択件数は全国で153件、このうち東北は19件。

本県関係で採択されたのは、ルミノテックに加え▽新日鉄マテリアルズ（事業実施場所・小国町）の「太陽電池関連部材の製造」▽ルネサス山形セミコンダクタ（同・鶴岡市）「省エネ型情報機器の製造」▽シリコンプラス（同・天

全国9万5000人雇用創出

童市「太陽電池関連部材の製造」▽後藤電子（同・同）「エコカー等の製造」▽アルファデザイナー（同・米沢市）「LED関連部材の製造」。このほか、曙ブレーキ工業は事業実施場所として、さいたま市のほか、寒河江市の工場も対象とし、「エコカー等製造」に取り組む。

それぞれの事業費の規模や想定雇用人数は非公表。有機EL照明の製造を進めるルミノテックは取材に対し、「年明けから生産を始める有機ELパネルの製造装置について、補助金を活用して製造工程の自動化を図る」とした上で、「今月22日には約49億円の増資も行っており、着実に事業を進める態勢を整えている」と話した。